

発掘された

# 長井市の遺跡



令和4年7月27日(水)～8月21日(日) 古代の丘資料館展示室  
ギャラリートーク: 8月7日(日) 14:00～14:40

## ながいし はくつちようさ 長井市の発掘調査

山形県の南西部に位置する長井市は、中央を最上川が北流する自然豊かな郷です。縄文時代中期(約4000年前)の集落跡が検出された長者屋敷遺跡をはじめ旧石器時代から近世にかけて233ヶ所の遺跡が確認されています。そのうち現在まで県教育委員会と山形県埋蔵文化財センターにより6遺跡の発掘調査が行われました。

堀端遺跡・埴ノ上遺跡では奈良時代から平安時代の、塀で区画された施設が2箇所検出されました。塀の内側に倉庫跡と考えられる大型の掘立柱建物跡、外側には竪穴建物や畝などが確認されました。調査により両遺跡に9世紀前半頃の、古代長井郷の中心的な施設があったと考えられます。

小山遺跡では旧河川を避けるように形成された9世紀後半頃の集落跡が確認されました。

小豆澤館跡は小高い山に築かれた中世の城館跡です。建物を構成する礎石のある柱穴列や空堀などが確認されました。

## 展示遺跡

空沢遺跡 小山遺跡 堀端遺跡 埴ノ上遺跡  
蛇崩窯跡 小豆澤館跡

## 展示遺跡



公益財団法人  
山形県埋蔵文化財センター  
〒999-3246  
山形県上市市中山字壁屋敷 5608  
TEL:023-672-5301 FAX:023-672-5586  
HP:<http://www.yamagatamaibun.or.jp>  
E-mail:[yac@yamagatamaibun.or.jp](mailto:yac@yamagatamaibun.or.jp)



からさわ  
空沢遺跡

新野川第一発電所建設に伴い平成 15 年に発掘調査が行われました。調査で<sup>たてあな</sup> 縦穴住居跡や<sup>おとしあな</sup> 陥穴等が確認され、縄文時代<sup>そうき</sup> 早期から<sup>ばんき</sup> 晩期まで長い間にわたって、<sup>しゅうらく</sup> 集落・<sup>しゅりょうば</sup> 狩猟場といった様々な形で利用されたことがわかりました。



発掘調査区全景



じゃくづれかまあと  
蛇崩窯跡

複式炉



逆茂木跡のある陥穴

一般国道 287 号道路改築事業に伴い平成 17 年に発掘調査が行われました。斜面に<sup>へいあん</sup> 平安時代前期（9 世紀後半）に<sup>そうぎょう</sup> 操業されたと考えられる<sup>すえぎ</sup> 須恵器の<sup>かまあと</sup> 窯跡が確認されました。窯跡や周辺からは廃棄された不良品等も出土し、古代置賜郡における須恵器生産の様子が伺えます。



第 1 号窯跡



発掘調査区